

メディアに取り上げられました。



「ほっとライン」の新サービス開始

「医薬品と対応病名検索」を特別料金で

詳細●東京都医師会「ほっとライン」のページを参照▶▶ <https://hotline.tokyo.med.or.jp/>

東京都医師会「HOTライン」では、診療の現場ですぐに使えるいろいろなサービスを提供しています。その一つとして「医薬品と対応病名検索システム」が加わったのでご紹介。これは「JAPIC」(財)日本医薬情報センターが有料で提供しているものだが、ほっとライン経由により、通常より安い特別料金で提供される。利用できる主な機能として、以下のようなものがある。

●「病名」あるいは「ICD10」を検索キーとして該当する医薬品をリストアップ
 ●「薬効」を検索キーとして該当する医薬品をリストアップ

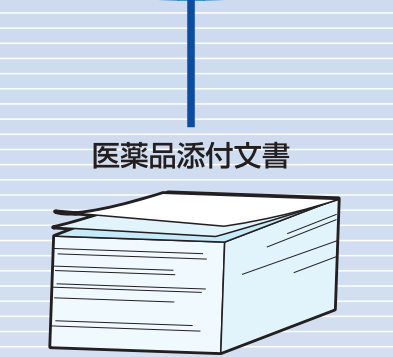
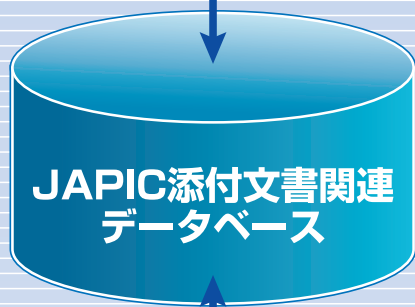
これらサービスの利用を希望される場合は、東京都医師会「ほっとライン」係へ登録申込が必要となる。

「都医ニュース 2009年4月15日掲載」

JAPIC添付文書関連データベースが更に充実しました!!

標準病名データベース (MEDIS-DC提供)

索引語	病名表記	ICD10	レセ電コード
ストレス胃潰瘍	胃潰瘍	K259	5319099
急性出血性胃炎	出血性胃炎	K290	8834631
胃・十二指腸潰瘍	胃十二指腸潰瘍	K279	8844007



日本医薬情報センターはワンランク上の院内システム構築を支援します。

医薬品と対応病名検索システム



とりあえず検索してみたい。今後カルテを電子化する予定だ。

- 薬と病名がどちらからでもわかる。
- 新薬にもすぐ対応 (毎月更新)
- 院内LAN対応
- 添付文書イメージ (PDF) 参照機能付き。 ※表面参照

院内システムに標準病名を導入したい! この病名の患者に最適な医薬品はもっとほかにあるかな?

- 医薬品と標準病名が対応。
- 専門医師、薬剤師の評価に基づく関連付け (◎、○、△、×)。
- 電子カルテに搭載可能。
- 毎月更新。 ※表面参照

医薬品と対応病名データベース



全ての添付文書の情報を利用したい! 採用薬以外の情報も積極的に集めたい!

- 添付文書情報をXML化。
- テキストデータ、PDF (イメージデータ) をそろえ、充実。
- 新薬データ更新も迅速!
- 毎月更新。

添付文書情報データベース



標準病名ってどれを選ばいいの? 電子化はまだ先だけど、将来的には標準病名に対応させたい!

添付文書記載病名集

- 個々の医薬品に対応した標準病名が一覧できる。
- 標準病名を導入したい方に、導入を検討したい方に最適。

今月分のレセプトに病名の記載漏れが無いチェックをしたい!

病名適応医薬品集

- 標準病名に対応する医薬品名が一覧できます。
- 同義語病名は標準病名に索引可能。
- 医薬品情報は一般名、先発商品名、効能効果を掲載。

添付文書記載病名集 Ver.2.0 (2008年2月版) (財)日本医薬情報センター編

平成二十三年にはレセプトオンライン化が完全実施される。厚生労働省通知では、レセプトの傷病名は、原則として、同省提供のレセプト電算処理用の傷病名マスター収録の標準病名を使用することになっているが、(財)医薬情報システム開発センター (MEDIS-DC) の「ICD10対応電子カルテ用標準病名マスター」は、これと完全連携している。

医薬品の添付文書の効能効果欄には、薬事審議会が承認された適応病名が記載されているが、必ずしも標準病名が用いられているわけではない。本書は、医薬品ごとに効能効果欄の病名と一致するMEDIS-DCの標準病名を選び出し、加えて、これと同じICD10コードを持つ別の標準病名、および日本医薬情報センター (JAPIC) 病名辞書に記載されている標準病名をリストアップし、これらについて、医師、薬剤師等の専門家が妥当性を評価したものを対応標準病名として、ランク付けして一覧表示している。

掲載内容は、医薬品の商品名、効能効果病名およびそれに対応する標準病名、さらに、用法用量、警告、禁忌等の重要事項の一部、後発品の情報等々である。

時節柄、タイムリーな刊行であり、レセプト点検などに有用である。

定価 七、八〇〇円(税込) 発行 (財) 日本医薬情報センター
 〒03-5466-1811

「日医ニュース 2008年9月5日掲載」